

《会社概要》 本社は松江市乃木福富町。1973年2月に設立。資本金1億円。従業員91人。2008年度の売上高は約34億円。東京とソウルに支社、大阪に営業所がある。

携帯電話の電波網を利用し、上下水道を無線で遠隔管理するシステム「やくも水神」を展開している。5月末時点でシェアの約11%に当たる全国約190自治体が導入し、約4600施設を管理。小松昭夫社長(65)は「水にかかわる事業はこれからの社会の重

小松電機産業

松江市

要課題」と強調する。

1973年、下水用ポンプ修理業として創業した。ポンプの制御装置の開発などを手掛けた後、2000年にNTTドコモの電波網を利用した管理システムを開発した。

上下水道の水源や水門、マンホールポンプなどの設備に監視端末を置き、リアルタイムで送信されるデータをパ

災害に強い水道無線管理

ソコで管理する。設備の異常時には担当者の携帯電話にメールが送信され、迅速な対応が可能。設備を電線でつないで管理する一般的な体制に比べ、雷などの災害に強いことも特長だ。

また今年6月には、より操作が簡単なiPad(アイパッド)やiPhone(アイフォン)などの端末で運転を管理できる「やくも水神Gシリーズ」を開発した。

自治体の上下水道関連施設の管理は、監視員の高齢化や、合併に伴う複雑化などが課題となっている。小松社長は「新しい時代に対応しており、3年後にはシェア30%を目指す」と話す。

もう一つの主力商品はビニール製シートシャッター「門番」だ。もともと地元企業の要望で水管理事業の合間に開発を始めたが、85年の発売以来、国内外で約12万台を販売。業界一のシェアを誇る。高い気密性があり、衛生面を重視する食品製造工場などから支持を得ている。

「水を管理する『水神』と空気を管理する『門番』は、環境を意識したビジネスという点で共通している」と小松社長。「21世紀型の新しいモデルを発信していきたい」と力を込める。(長久豪佑)



iPadで上下水道施設を遠隔管理できる「やくも水神Gシリーズ」

